

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

教育政策課

1 施設の概要等

施設名	府中市上下歴史文化資料館		
所在地	府中市上下町上下1006		
設置目的	歴史資料等の収集、保管、展示、調査及び研究等の事業を行い、文化財の保護と活用を図る。また、岡田美知代の紹介と上下地域の歴史・文化調査及び研究を行い、上下地域固有文化財の保護・普及活動を図ることを目的とする。		
施設・設備	地上2階建物、木造瓦葺 1320.5㎡ 延べ床面積712.6㎡		
指定管理者	R4.4.1	～	R6.3.31 一般財団法人府中市まちづくり振興公社

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	5,000 人	10,437 人	3,755 人	5,437 人	156	%
R5	10,000 人					%	
R6						%	
R7						%	
R8				-		%	
増減理由	○新型コロナ禍で、各学校の総合学習等での館内利用が中止となり、同時に観光客数も激減し入館利用者も減少したが、2月以降は観光客もゆっくりと回復し、天領上下ひなまつりもコロナ禍以前と同様に開催され、館内での各研究会なども実施したため、入館者数も増加した。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	施設利用アンケート実施	個人304件
	【主な意見】	【その対応状況】
	館内の照明が暗いところがある。	館内照明をLED電球に交換し、見にくさを軽減。
	高齢者や車いす利用者は2階に上がるのが困難(エレベーター等の施設が必要)。	高齢者や車いすの利用者にはスロープの利用に伴う補助などを実施(エレベーターなどの設置の検討)。

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考		
報告書	年度	○	事業報告書		
	月報	○	業務日誌		
	日報(必要随時)	○	その他(雨漏り報告・破損報告等)		
管理運営会議		【特記事項等】			
1 回 会場 教育委員会		・歴史資料館運営審議会を開催し、現状や課題の報告に対する意見交換協議等を実施した。			
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】			
		・現地での意見交換が重要。引き続き実施する。			
1月	2月	3月	4月	5月	【市の対応】
	○				
6月	7月	8月	9月	10月	
	○	○	○	○	
11月	12月				
○	○				

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	16,886	1,408		R4	0	
	R5			R5			
	R6			R6			
	R7			R7			
	R8		-	R8			-

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R3決算額	R4決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	15,478	16,886	1,408	昇給分等
	料金収入			0	
	その他収入	33	620	587	コピー代金・書籍購入増加・補助金有
	計(A)	15,511	17,506	1,995	
	支出				
	人件費	11,064	11,794	730	昇給・手当増・臨時職員賃金増
	光熱水費	977	1,720	743	電気代の高騰、開館日増加(R3コロナ休館多)
	設備等保守点検費	274	274	0	
	清掃・警備費等	386	380	-6	草刈経費減
施設維持修繕費	68	111	43	修繕費	
事務局費	1,218	1,697	479	研修参加費・著作集印刷による増	
その他支出	751	1,530	779	事業額増による経費増	
計(B)	14,738	17,506	2,768		
収支①(A-B)	773	0	-773		
自主事業	収入(C)			0	
支出(D)			0		
収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)	773	0	-773		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を發揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者として目指す運営を構築するため、職員が一致団結して業務に取り組み、施設の安全な維持管理を徹底。 ○小説家の岡田美知代や上下地域の歴史・文化を活かし、地域住民および来訪者の文化的向上を図る活動を実施。 ○地域の学校や地域住民と連携し、地域の歴史や文化に触れる機会への参加や協力体制を構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の維持管理について、適切に行われている。 ○館の主題である岡田美知代の著作集が研究者と館の共著により発刊された。館の特性を学芸領域の推進によって、さらに深化させ利用と活動の活性化が期待される。 ○新型コロナウイルスによって、来館利用者数については、一時的な減少があったが、その間に資料整理や新たな観点や手法による情報発信が行われた。来館者については現状は回復傾向にあり、継続的な利用促進が望まれる。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの実施状況を検証するとともに継続運営に全力を尽くす。 ○経年劣化が著しい設備関係の施設整備の計画的な実施が必要。 ○資料館の属性に即した調査・研究・資料整理を行い資料館機能を向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者数増加への取組 ○施設整備の計画的な実施 ○継続的な地域協力や連携と施設利用の促進 ○資料館活動の根幹業務の継続